# 全科協ニュース

URL http://jcsm. kahaku. go. jp

全国科学博物館協議会 ᡂ110-8718 東京都台東区上野公園 独立行政法人国立科学博物館 Tel.5814-9863 Fax.5814-9898 平成19年1月1日発行(通巻第212号)

# 特集:指定管理者制度導入の現場から

# 直営から指定管理へー大阪市立自然史博物館の場合ー

大阪市立自然史博物館 館長 山西 良平

昨年(2006年)6月の全国博物館館長会議で配布された 指定管理者制度導入状況調査集計結果(日本博物館協会に よる公立博物館に対するアンケート調査)によれば、回答 数479のうちすでに指定管理者制度を導入しているのは 112館園で、ほとんど(97)は以前から財団等に管理・運営 を委託していて、2006年9月1日までの経過措置を期限と して必然的に指定管理者制度への移行を迫られていた施設 である。

導入後の委託先は財団等の「自治体の出資法人・公共団体」がほとんど(97)を占め、「民間事業者・NPO」は6施設に過ぎない(その他・無回答9)。ただし公募方式の場合、固有職員によって館を運営してきた財団においては、選定を受けるために多大なエネルギーを投入せざるをえず、さらに博物館職員の雇用が指定管理期間に限られてくるという深刻な問題が生起している。

この制度の導入がなされていない直営館においては、今 後導入を予定しているところは26と少なく、「導入しないこ とに決まっている」という回答が108、「わからない」が220、 その他13という結果であり、動向は流動的である。

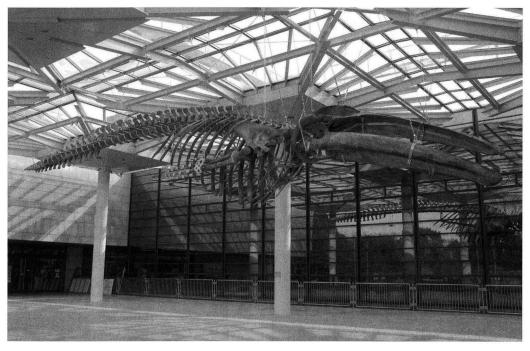
公共施設の管理代行者を、期間を限定しつつ競争原理に 基づいて選定するという指定管理者制度は、もともとハードを主体とする施設を想定してデザインされた経営形態である。学術研究、資料収集保管、展示、普及教育などの多面的な公的事業を担って常に5年、10年先を見据えながら活動していかなければならない博物館施設の安定的な経営にとって、この制度は必ずしも適合していない面がある。もちろん外部のノウハウや活力を導入することも大切であるが、その課題は博物館の内部改革と市民との連携・協働 を通じて解決されるべきである。

自然史系博物館においては、指定管理者制度の導入はむしろ例外的であり、島根県立三瓶自然館(財団管理委託から移行)と大阪市立自然史博物館(直営から移行)の2館のみである。このように当館(大阪市立自然史博物館)は、自然史系博物館として、また直営から指定管理者制度に移行した公立博物館として、今のところ全国的に稀有な例である。しかし引き続き各地の自治体において博物館への指定管理者制度の導入の検討が進められている状況があるので、この間の経過と現状について紹介しておきたい。

#### 膨大な数の公共施設がほぼ同時に指定管理に

大阪市においては、2003年6月に地方自治法が改正されて以降、「公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する指針」に基づいて指定管理者制度の導入が進められてきた。指針では公募が原則、指定管理期間は4年間とされている。その結果、2006年11月までに277施設がこの制度に移行した。うち公募は157施設(56.7%)、非公募(指名)が120施設(43.3%)である。このため、「原則に照らし合わせると非公募の比率が高すぎる」という一昨年の市議会での指摘の結果、非公募施設の指定管理期間は一律2年間に短縮され、次の機会には公募を目指すこととされた。

教育委員会が所管する博物館についても、市立美術館を除く4館(東洋陶磁美術館、科学館、歴史博物館、自然史博物館)が昨年4月に事業部門・管理部門ともに全面的に指定管理者制度に移行した。選定は非公募方式で行なわれた。したがって期間は2年間である。当館を除く3館はすでにそれぞれ異なる監理団体の下で運営されていたために



18年3月に博物館ポーチにデビューしたナガスクジラの全身骨格。愛称はナガスケ。

それらの団体が指定管理者に指名された。直営であった当館については、教育委員会の方針に基づき、すでに歴史博物館を管理・運営していた財団法人大阪市文化財協会を指定管理者とすることとなった。このように指定管理者が館によって異なることや、美術館が直営のまま運営されていることなどはそれぞれの館運営の経過などによるものである。大阪市全体の250を超える施設がほぼいっせいにこの制度に移行するという大きな流れの中で、博物館施設もとりあえずこのように可能な形で対応せざるを得なかったというのが実情であろう。大阪市内部や議会において必ずしも十分な論議がなされたとは言えない。

#### 博物館の質を低下させないために

大阪市教育委員会が本市の監理団体を博物館の指定管理者として指名した理由のひとつに、「公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」および大阪市の「公益法人等への職員の派遣等に関する条例」、同「施行規則」に基づいて本市が直接雇用している職員をその団体に派遣できるというメリットがある。これによって館長を含めた学芸員は今までどおりそれぞれの館に配置されることになった。

また指定管理の仕様等を策定するに当たっては、これまで実施してきた事業を詳細にそこに書き込み、そのための 予算も最少限度は確保することができた。この場面では、 当時直営であった博物館の職員が、仕様書作成や予算要求 において直接的に当局に対して現場の意見を反映させるこ とができる関係にあったことが大きい。

以上の結果、指定管理者制度に移行してからも、当館の 事業や市民サービスの機能が低下したということは基本的 になく、学芸員も今までどおりのやり方で業務に携わって いる。

### 経費の削減

一方、制度導入を契機として博物館施設に関わる総予算は前年度と比べて20%以上も削減された。指定管理者制度導入の重要な眼目が「経費の節減」である以上、それを伴わない形はありえないということであろう。財政危機が叫ばれるようになってからこの方、当館も毎年の予算減額に対応してきた結果、事業関連の予算は5年前と比べると約半額に減り、館蔵品購入や研究機器購入などの経費は要求することすら認められなくなっていた。もはやこれ以上削りようがないところまできていたのである。にもかかわらず、このような中で更なる大幅な削減が可能になったのは、管理部門に対して大なたが振われたからである。市から派遣する職員は最少人数の管理職・技術職にとどめられ、これまで事務や事業補助に携わっていた市職員は、指定管理者が短期で雇用する契約職員に全面的に切り替えられるとともに、その総数も削減された。結果、人件費は大幅に抑

えられることとなったが、管理部門のリスクとストレスが 著しく高まっている。

また、直営の時と異なり、人件費が「委託費」として指定管理者に支払われることから、これに対して消費税が課せられることになった。現在、27名の体制で運営しているが、決して少なくない出費である。これもこれまでの経費枠の中から捻出する必要があった。

# 次のステップへ向かって

指定管理の1年目の4分の3が過ぎた。来年度は早くも 現在の契約が終了する年であり、次のステップへの移行の 年でもある。

大阪市では長年にわたって多様な館種の博物館を個別に 設置・運営してきたが、今日的な状況の中で、事業におけ る継続性確保とともに、これらを都市経営戦略の拠点施設 と位置づけ、地方独立行政法人という経営形態を選択できるよう、大阪市当局によって国への働きかけが行なわれているところである(今のところ公立博物館は地方独立行政法人法の対象施設とはなっておらず、政令改正が必要とされている)。

また、新規あるいは次の指定管理サイクルに向けて、指定管理期間の大幅な延長や、指定管理の対象を管理部門のみにとどめるなどの弾力化をはかる新しい動きも各地の自治体で起こっている。

公立博物館の経営形態の問題はいずれにしても設置者が 最終的に判断すべきことであるが、その場合にみずからの 博物館(群)の将来に関するポリシー、自治体としての経 営戦略の中での位置づけを明確にすることが今まで以上に 求められるようになるであろう。

# 指定管理者制度の現状

札幌市青少年科学館 管理課長 岩谷 隆博

# 1. 札幌市青少年科学館の概要と指定管理者制度導入 の経緯

当館は、昭和56年開館の、4階建て、延床面積10,000m²余、展示物約300点、プラネタリウム座席数200の施設で、今年で開館25周年を迎えました。昨年にはプラネタリウムを全天周投影型の最新式のものにリニューアルしています。

また、当館は開館以来札幌市が管理運営していましたが、 総合的な生涯学習施設の開設に伴い、この施設と当館を管理運営するための「札幌市生涯学習振興財団」が平成11年 に設立され、以後当財団が札幌市からの委託を受けて管理 運営を行っていました。

そのような中で、昨年10月、市議会で指定管理者制度導入のための条例案が可決され、これを受けて翌11月募集要項等の交付など選定手続きに入りましたが、当財団のみの応募で、他に応募団体がなく、12月の候補者選定を経て、今年3月、当財団が平成18~21年度の管理者に指定されました。

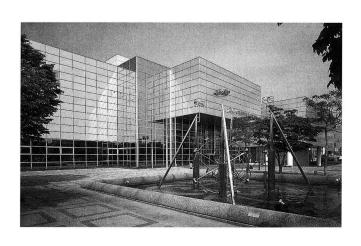
今年度は制度導入初年度であり、特に年度前半は現行事業の継続、事業水準の維持に重点を置いたことから、運営

の根幹に大きな変化のない状況のため、指定管理者の導入 経過の経験者として、現在の感想を以下に綴り、現状報告 とします。

### 2. 運営状況等の変化

運営の根幹に大きな変化はありませんでしたが、やはり 次のようないくつかの変化を感じさせる状況はあります。

① 経費節減のため市派遣職員の引上げ・職員減員を実施したことにより、当然のことながら、残った財団職員一人一人の力量が、当館の運営に大きな比重を占め、同時に





職員の意欲・積極性の喚起につながったと感じています。

- ② 昨年度までに比較して、入館者数・観覧料収入の動向に対し、職員の関心が高まっていると感じられることです。利用料金制となり、また今年度はかなり切詰めた、全体に余裕のない予算となっているため、入館者数・観覧料収入の変動は、以前にもまして気にかかる事柄となっています。また、入館者数・観覧料収入の変動は、天候や他団体・他施設の各種事業など、財団の運営努力の範囲外の事柄による影響も決して小さいものではなく、経営責任とはこのようなリスクも抱えるものであることに改めて気付かされます。
- ③ 4月期の職員の超過勤務時間数の大幅な減少です。 昨年度までは設備・警備・清掃等の施設管理の業務毎に毎年個別に契約していたため、契約事務の負担が大きく、また予決算事務と重なることもあって、3~4月の超過勤務は相当な時間数となり、職員負担の面からも従来手法の継続は大きな問題になっていましたが、経費節減提案として施設管理業務の集約委託を掲げ実施したため、契約事務負

担がかなり軽減される結果となりました。

# 3. 今後の運営への願い

指定管理者の応募・選定を経験してきた者として、今後 の運営に関しては、次のようないくつかの願いを持ってい ます。

- ① 次回の指定管理者の応募時には出来れば経費削減提案はしたくないということです。次回以降の指定がいわば価格競争となっては、勝ち残っても体力の消耗から将来の展望の持てない状況となるように思われます。科学館運営の最重要課題の1つである人材の確保・育成は、運営維持のために必要最低限の人員・処遇の中では難しく、多少なりとも余裕のある体制でなければ実現出来ないように思われます。(なお、開館時間延長・観覧料割引なども事業提案というよりは形を変えた一種の価格競争提案の要素が強いと感じています。)
- ② 次回の指定管理者の応募時に事業提案だけで指定されるためには、今回の指定期間中にできるだけ実績を上げ、

市民の理解・信用を得たいということです。指定管理者制度に関し「施設職員が制度導入に被害者意識を持つだけでは消え行くのみである。むしろ市民・利用者の理解を求め、味方にし、施設の地歩を強固にしようと前向きに考える者には好機である。」というような趣旨のお話を聞いたことがありますが、同感です。今回指定され、今後4年間運営の機会が与えられたことに感謝し、提案した各種の事業に誠実に取組み、できるだけ多くの市民の理解・信用を得たいと考えています。

③「次回の管理者の指定」を事ある毎に職員に繰り返したくないと感じています。当財団が次回の管理者に指定されなかった場合、直ちに職員の失職という深刻な問題の生じる可能性がありますが、そのことの指摘の繰り返しが、緊張感に止まらずに、圧迫感となったり、不安感を煽ったり、また反感を招いたりしては逆効果になります。継続して指定を受けたいという気持ちは皆同じなので、それぞれの個性や考えを尊重する余裕を持った運営をしていきたいと考えています。ただ、最後までばらばらな考えでは財団として十分な力を発揮できないことも事実ですので、要所では考えが纏まるように職場内のコミュニケーションを高めていきたいと考えています。職場内のコミュニケーションも十分に出来ないのであれば、市民に対する科学コミュニケーターという科学館本来の役割も十分には果たせない

だろうと思います。

④ また、そもそも財団の管理者指定だけを最優先に考える運営態度では、市民の理解は得られず、むしろ指定を難しくするのではないかと感じています。市民の理解を得るためには、いわば顧客需要を把握しこれに応える運営をしていかなければなりませんが、顧客需要の把握は簡単なことではなく、むしろ真に市民が何を求めているか、どう応えていくかを考え続けていくことが大事であるように感じています。自分達の目や耳は真に市民が求めるものをいつも十分に見分け聞分けるほどには良くはないかもしれないという謙虚な気持ちを持ち続け、来館者の反応を探りつつ、普段から「科学館とは何か。」「市民は何のために科学館に来るのか。」「われわれは何をすべきか。」の原点に遡って、地道に愚直に考え、自らが確信を持てる事業内容にしていかなければ、本当には市民に伝わらず、伝わらなければ市民を味方にすることもできないと感じています。

指定管理者制度は始まったばかりであり、その良し悪しを現時点では判断できませんが、制度導入の如何に拘らず、職員が科学館の使命を自覚し、誇りに思い、日々勤勉に仕事をし、そのこと自体を楽しいと感じ、また職員の楽しいと感じる幸福な気持ちが来館者に伝わるような科学館にしたいと願っています。

# 指定管理者制度の現状 ~どうやったら来館者が増えるのだろう?と苦悩する日々

佐賀県立宇宙科学館 統括マネージャー 田鎖 和哉

佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》は1999年(平成11年)7月に開館以来、佐賀県教育文化振興財団によって管理運営がなされていましたが、指定管理者制度の公募があり建設時から係わり思い入れの深い松尾建設と乃村工藝社の2社が『乃村・松尾宇宙科学館活性化共同企業体』としてJVを組んで応募し今回の指定管理者となりました。指定期間は2006年(平成18年)4月から3年間です。

4月に業務を引き継いでからあっという間に8ヶ月が過ぎてしまい、次年度の業務計画などの準備が始まったので日誌を振り返ってみました。

3月31日は閉館後、私共は受付カウンターの設置や表示

関係の移動など遅くまでかかって準備を行ない、財団は引越荷物の搬出などをされました。ミュージアムショップの棚卸しが終わり、金庫の現金を財団より引継ぎ確認し、いくつもの書類の署名捺印を交わし終わったのは既に24時を回っていました。前年度までの財団雇用の内およそ2/3の方が条件を受け入れ一緒にやって行こうと継続して残ったとはいえ、休館することも無く継続した営業の中での運営管理者の交代でした。

新体制初日の4月1日は土曜日、早速、春休み最後の土・ 日という多客日からのスタートです。開館前に全員が入口 ギャラリーに集まり "地域社会に愛される科学館"を合言 葉に、緊張の中でお客様をお迎えしました。新参者には何から何まで戸惑うことばかりでしたが、あっという間に土・日が終わり最初の休館日となった4日の火曜日には全員出勤で、社内規則・事務処理の方法など、総務・人事・経理の関係者が乃村工藝社本社より来て内部ルールの徹底をはかりました。

来館するお客様にとっては管理運営がどこに変わろうと関係ない事です。私共が変更した点は2点。休館日はハッピーマンデーなどで月曜日の休日が増えているので従来の月曜日から火曜日としました。利用料金は入館料500円・プラネタリウム500円だったものを、ミュージアムショップ、図書室、こどもの広場などのギャラリー部分をフリーゾーンとし、常設展示観覧料500円・プラネタリウム観覧料500円、両方見る場合はセット料金900円と設定しました。チケットはシールワッペン式とし、従来の券売機をやめてカウンターでの対面販売です。

ゴールデンウイークは特別企画展『帰ってきた科学の子供たち~バンダイコレクションのなつかしのおもちゃ展~』と『未来絵日記』のイベントを行なった他、『懐かしのポン菓子』の実演も行ないました。縁日との違いは加熱中の待ち時間の『ポン菓子はどうして出来る?』の解説紙芝居。昨年のゴールデンウイークは10日間、今年は9日間と1日少なかったが入館者総数は昨年の12,628人に比べ200人ほど少ないだけ、有料観覧者数も969人減とまずまずといえる数字でした。逆にプラネタリウムは3,042人に対し11,659人と4倍近くに増え、セット料金設定と対面販売の

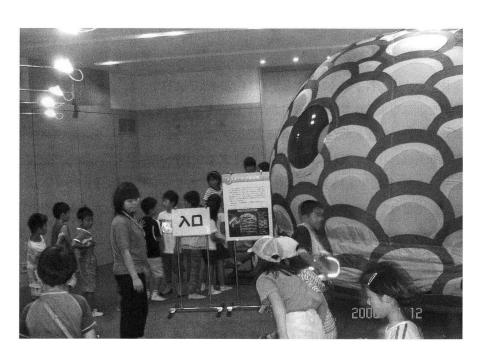
効果が収入の増加をもたらし、明るい未来を予感させたも のでした。

ゴールデンウイークの熱気がすんだと思ったら修学旅行のシーズン。当館は春と秋は小中学校の修学旅行や遠足など学校行事で、多い時には1日20団体を超えるという日もあります。

夏休みは『昆虫ワールド〜地球の小さな仲間たち〜』とし、前半は国立科学博物館の巡回展を貸していただき8月6日までの25日間、子供連れの来館者が多く、合計16,539名の観覧者でした。『蜂の巣ふわふわ』や、『蟻の巣トンネル』は子供に大人気でしたが、反面大人の方からは「昆虫が少ない」「遊びや大型模型ではなく本物を」などの手厳しいアンケートの書き込みがありました。後半は『宇宙科学館オリジナル展』として環境問題、絶滅危惧種や外来種の問題など身近な昆虫の話題から海外の珍しい昆虫まで充実した内容の展示を行ないました。

9月12日から11月26日までは秋の特別企画展『小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦〜星の王子さまへの旅〜』をJAXA その他の研究機構の協力を得て開催しました。8月末には 冥王星問題で世間でも天体に関する関心が一層高まり、宇宙科学館らしい企画と自画自讃する企画展でした。

県との協定は施設維持費と利用料金で運営を賄うため入館者の増加が必須です。開館初年度の33万6千人がその後減少推移し、プロポーザル時にもらったH16年度資料では22万5千人、これに努力目標10%上積みし25万としましたが引き継いだ時点でのH17年度実績は20万6千人、1割増



大人気の「蜂の巣ふわふわ」



「はやぶさ」の原寸モックアップ

の積もりが2割5分増しの高いハードルに替わってしまいました。それでも7月半ばまでは昨年とほぼ同様な入館観覧者数でしたが、後半から徐々に減りだし11月を終わって昨年実績の約90%という数字です。

企画展やイベントのたびに地元放送局や新聞などメディ アへの発信、また新しく福岡地区への販促強化など、広報 営業活動はいろいろやっては来ましたがなかなか集客に結 びついてきません。休館日を月曜日から火曜日に変更した のが影響したのか? 今年の九州の夏は好天気が続き雨が 少なく暑い夏だったのが原因か? 企画展に魅力が無かっ たのか? 展示が古いのか? 県の教育庁文化課との定例 協議でもお願いはしていますが改装計画は目処が立たず、 補修費の中から緊急を要する施設・設備の手当てをして頂 いてはいますが小口は保守修繕費からの支出となり、7年 も経つと装置やメカなどの故障、情報系の不具合などが頻 繁に起こって頭の痛い問題です。11月は何とか昨年並みの 数字ですが、これで下げ止まったのかは何とも言えません。 意地でも昨年度の数値を下回るわけには行かないのです が、人口86万人の佐賀県でこれまでの入館実績を上げてき た財団のご努力には感嘆するばかりです。県の文化課もあ まり干渉せず理解ある見守りをしてくださっているのは大 変にありがたい事です。

日本ミュージアム・マネージメント学会(JMMA)による10月26日のミュージアム・マーケティング・シンポジウムでは欧米のプライベイト資金の獲得や、東京都写真美術館の入館者増加のお話など色々と参考になりましたが、井

関利明先生の『何をやっても入館者が増えないと言って嘆くのは努力が足りないせい』との一言がグサっと胸に突き刺さったまま抜けません。井関先生のマーケティング理論を改めて読み直し、更なる努力で地域に愛され、来館者が楽しんで満足し、そして何度も足を運んでもらえる《ゆめぎんが》を目指して目標を達成しないことには『地域と一体化し官民連携により新しい公共サービスのあり方を追及することにより、施設設置者・施設利用者・指定管理者のそれぞれがメリットを享受するトリプルウインの達成』を事業理念とする乃村工藝社本体のPPP事業に影響を与えることにもなるため、あと2年半の活動を探ってゆかなければいけません。

先日の新聞に、佐賀県観光課が推進している家族向け観光事業「ファミリーツーリズム」の夏休みに実施したアンケートの結果『県内の観光施設満足度で宇宙科学館が1位』と報道されたことには職員一同歓喜の声を上げましたが、ロコミで評判がさらに広がってゆくことを期待します。

宇宙科学館のある武雄市は人口86万人の佐賀県の中でも5万2千人の市であり、武雄温泉やお隣の嬉野温泉への観光客も近年減少傾向にあります。そんな中で11月12日に34歳の三条市長に抜かれるまで36歳で全国最年少だった樋渡啓祐市長が「佐賀のがばいばあちゃん」のTVドラマのロケ地を武雄市に誘致し、1月4日(木)21時から全国ネットで放映されます。武雄温泉に来る観光客が増えて『佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》』もそのおこぼれに与かれるように祈る次第です。

#### 

## 英カーディフ国立博物館で、イスラム発明展が開催中

西欧文明の科学技術の発展の多くは、イスラム圏での発 明なしには達成しえなかったことは、20世紀の科学・技術 史の歴史家が明らかにしてくれたが、このことは長くイギ リスの学校教育の中では教えられてこなかった。それが現 在イギリス国内に蔓延しているイスラム教徒への差別・偏 見の温床になっていると、やっとイギリス社会も気づきは じめたようだ。現在手術室で使われている手術器具の多く は、10世紀に活躍した外科医アル・ザラウィーが考案した 200点もの手術器具が原型になっている。またエンジンのク ランクは、イスラム世界で発明された水揚げ装置がもとに なっているし、地震に強いアーチ型の建物の設計もイスラ ム圏の中で地震が多い地域で生まれた。蒸留器に至っては イスラム世界の最高の発明品だという研究者もいる。その ほかに、9世紀には天文観測儀アストロラーべが、そして13 世紀にはアル・ジャザリによって水力時時計が発明されて いる。

現在ウェールズ地方の中心都市であるカーディフの国立 博物館で開催されている特別展「1001 Inventions: Discover the Muslim Heritage in our World」の基本的な 考え方に、そうした反省が根底にある。同展では、実物や レプリカを使って、イスラム圏の英知で誕生した1001件の 発明が紹介されている。

日本ではイスラム美術の逸品を紹介した美術展が戦後数 回開催されてきているが、科学・技術におけるイスラム世 界の発明を紹介した本格的な展覧会はまだ開催されたこと がなく、今後そのような展覧会の開催がもっと期待されて もいいのではないだろうか。

会期:2006年10月24日~2007年2月4日。

1001 Inventions: Discover the Muslim Heritage in our World.

National Museum Cardiff.

http://www.amgueddfa-cymru.org/en/808/

http://www.1001inventions.com/

http://www.muslimheritage.com/

## リスボンの科学館で、セックスペリメント展が開催中

男女の違いは歴然としているように見えるし、そうでないとも言える。 概論的な議論はとかく空論に終わりがちだ

が、細かく検討するとそれなりに考えさせられることも多々ある。

ポルトガルでの最新の研究によると、美術の趣向では、 男女の違いがあるとだんだんわかってきたようだし、文字で書かれた(ポルトガル語の)テキストの読解力や数学の 理解力でも違いがあるようだとのことだ。こうした違いの 説明は、現在シントラの科学館「知識のパビリオン」で開催されている特別展「セックスペリメント」で紹介されて いる。会期:2006年9月15日~2007年8月5日。

Sexperiment.

Pavilhao do Conhecimento, Sintra.

http://www.pavconhecimento.pt/home/

http://www.pavconhecimento.pt/exposicoes/ temporarias/index.asp#sexos

# J・ハッチングズ自然史博物館に、25,000点の化石標本が 寄贈へ

米国ユタ州レヒにあるジョン・ハッチングズ自然史博物館に、このほど一人の化石コレクターから総点数25,000点の化石標本が一括して寄贈されることになった。時価にして50万ドルに値するこれらの標本は、89歳になるロイド・ギュンター氏(Lloyd Gunther)が少年時代からアメリカ各地で収集してきたものだ。化石標本として世界的に名が知れたギュンター氏の標本コレクションの大部分は、既にユタ州立大学で収蔵されており、他にユタ大学、エール大学やスミソニアン自然史博物館にも寄贈されている。

今回の寄贈品の一部は70年以上も収蔵庫に保管されたまま公開されることはかつてなく、ウミユリ、三葉虫、ノーチロイディア、オルトケラス、アンモナイト、化石木等の化石や多くの鉱物が含まれている。

ジョン・ハッチングズ自然史博物館の鉱物標本展示室でも既にギュンター氏が過去に寄贈した鉱物標本が展示されているが、2007年4月には、このほど寄贈されたコレクションの一部が、同館の鉱物標本展示室に加わることになっている。

John Hutchings Museum of Natual History, Lehi. http://www.hutchingsmuseum.org/

## 紅茶高速帆船カティーサークのマストが修復保存へ

ロンドン郊外の観光の名所グリーニッジには世界最大の

国立海事博物館があり、またこの地域の最も人気がある観光スポットは紛れもなく紅茶輸送高速帆船「カティーサーク」だ。このほど修復作業が進んでいるカティーサーク(総事業費2500万ポンド)の船体からマストが外され、それらは大規模修復のために2006年11月末にチャタム海軍造船所歴史センターに運ばれた。

旧英国海軍の造船所を丸ごと歴史博物館として整備したチャタム海軍造船所歴史センター(1985年開館)では、チャタム海軍造船所で製造された最後のディーゼル潜水艦オセロット(1962年進水)と、19世紀末に活躍したオスプレイ級スループ型軍艦ガネット(1878年進水)が屋外で展示されている。2007年初頭より、カティーサークのマストとスパーもこれらの歴史的船舶の間で修復作業が進められることになっており、カティーサークのファンもそれらの修復の進行を身近に見ることができる。2年後に修復されたマストはカティーサークに戻る予定だ。

Cutty Sark, Greenwich.

The Historic Dockyard Chatham

http://www.cuttysark.org.uk/

http://www.chdt.org.uk/

http://www.chdt.org.uk/photo\_gallery\_pop.php?id\_6

http://www.chdt.org.uk/photo\_gallery\_pop.php?id\_32

## 米デトロイト科学館で、人体展が2007年1月に開催

2001年にリニューアル・オープンした新・デトロイト科学館(ミシガン州デトロイト)で、2007年1月13日に人体展「Our Body:The Universe Within」が開幕する。同展では、20体の完全な人体標本と135点の臓器標本が紹介されることになっている。ギュンター・フォン・ハーゲンスの人体展に内容が似ているが、まったく同じではないようだ。

総事業費580万ドルの同展は、月に5万人の観覧者を想定しており、年間入館者が24万人から30万人の間で推移している同館にとって、まさにドル箱のイベントだ。企画・制作は、ボルチモアのユニバース・ウィズイン・ツーリング社。Our Body: The Universe Within.

New Detroit Science Center, Detroit.

The Universe Within Touring Company, Baltimore.

http://www.detroitsciencecenter.org/home.htm

http://www.ourbodytheuniversewithin.com/

米オーランド科学館で、人体展が開催中

新・デトロイト科学館での開催に先立って、同じ企画・制作会社によって制作された、人体展がオーランド科学館 (米国フロリダ州オーランド)で2005年11月から開催されている。こちらの方は、20体の完全な人体標本と200点の臓器標本が紹介されている。会期は、2007年7月まで。

家族と教師向け案内パックが関連サイトから入手できる。 http://www.ourbodytheuniversewithin.com/ guides/TheUniverseWithinFamilyOuting.pdf http://www.osc.org/school\_programs/ourbodyteacherguide.pdf

オーランド科学館と新・デトロイト科学館の人体展での人体標本はいずれも中国・北京で整備が進められている生命科学博物館から貸し出されているものばかりで、また中国国内(公式発表:総人口13億756万人・2005年末現在)のドナー本人や遺族からの献体として寄贈されたものだ。生命科学博物館がユニバース・ウィズイン・ツーリング社と行っているビジネスは、まさに驚くべき臓器ビジネスだ! Our Body: The Universe Within.

Orland Science Center, Orland.

http://www.osc.org/specialevent/ourbody.htm

米オレゴン科学産業博物館で、スターウォーズ展が開催中

オレゴン科学産業博物館(米国オレゴン州ポートランド)で、人気娯楽映画スターウォーズをベースにした特別展「Star Wars: Where Science Meets Imagination」が2006年11月11日より開催されている。同展では、過去に制作された6本のスターウォーズ作品から小道具や衣装が展示されている。会期は2007年1月1日まで。

ボストン科学博物館によって企画制作された同展は、ボストン科学博物館での開催(2005年10月27日~2006年4月30日)を皮切りに、コロンバス科学館を巡業し、オレゴン科学産業博物館の後、ロサンゼルスのカリフォルニア科学館(2007年2月~4月)、フォートワース科学博物館(2007年6月~8月)、フィラデルフィアのフランクリン科学博物館(2008年2月~4月)とミネアポリスのミネソタ科学博物館(2008年7月~10月)での開催が決まっている。

Star Wars: Where Science Meets Imagination.
Oregon Science and Industry Museum, Portland.
http://www.omsi.edu/visit/featured/starwars/
\* (やすい・りょう)

E-post: ZAKvaran@aurora.ocn.ne.jp

# ※ 月2月の特別展

開催館	展 覧 会 名	開催期間
札幌市青少年科学館	冬の特別企画「科学戦隊サイエンジャー登場!!」〜緊急指令!科学戦隊へ入隊せよ!〜	1月6日~1月21日
牛の博物館	家族で楽しむ企画展2007「イノシシはブーと鳴く?」	12月8日~1月28日
秋田県立博物館	企画展「博物館モノ語り」	11月18日~4月15日
郡山ふれあい科学館	コンピュータグラフィックス展「宇宙飛行士になれたら?」	11月1日~1月8日
	ホワイエ企画展「月のすがた」	11月1日~1月31日
	スペースパーク企画展「『へえ~』とビックリ 冬の科学館!『サイエンス展示・実験ショーアイディアコンテスト 入賞作品』」	12月2日~1月15日
	ホワイエ企画展「大野裕明の天体写真」	2月1日~3月31日
つくばエキスポセンター	ジュニア発明展「作品展示会」	11月25日~1月28日
ミュージアムパーク茨城県自然博 物館	第38回企画展「とんダネ ついタネ およいダネ ~種子(たね)の不思議を科学する~」	10月7日~1月14日
群馬県立自然史博物館	『自然史博物館のあゆみ』展	1月4日~2月18日
川口市立科学館	平成18年度特別展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」	12月9日~2月12日
<b>逓信総合博物館</b>	NHKワールド・カレンダー写真展〜伝えたい、にっぽん	12月20日~1月8日
	江戸時代の通信・交通資料展	1月12日~2月4日
	2007年NHK大河ドラマ「風林火山」展	2月9日~2月25日
国立科学博物館	特別展「大英博物館 ミイラと古代エジプト展」	10月7日~2月18日
機械産業記念館(TEPIA)	「ちえものづくり展〜社会を豊かにする最先端技術〜 PARTII」	1月19日~3月23日
地下鉄博物館	特別展「東京メトロ千代田線・有楽町線建設記録」	11月28日~1月21日
三菱みなとみらい技術館	巡回展「科学市場」	11月28日~3月4日
馬の博物館	テーマ展「馬と合戦」	1月5日~2月4日
	テーマ展「絵と彫刻 Soul of シンザン in 浦河 居石美知 子」	1月5日~2月4日
横浜こども科学館	企画展「なんでもアリーナ」	11月2日~2月12日
神奈川県立生命の星・地球博物館	企画展「パノラマにっぽん~地球観測衛星の魅力~」	12月9日~2月25日
黒部市吉田科学館	開館20周年記念特別展「全国疏水百選 十二貫野用水展ー 椎名道三の偉業ー」	11月25日~2月25日
佐久市子ども未来館	企画展「ゆく年・くる年・冥王星」	12月23日~1月14日
岐阜県博物館	資料紹介展「おカネの文化史~篠田家資料より~」	1月4日~2月12日
	マイミュージアムギャラリー「国際彫刻展~ボーダレス時代の造形表現~」	2月11日~3月21日
	岐阜県図書館収蔵資料展示「古地図の世界Ⅵ〜名所旧跡図〜」	2月17日~3月21日
中津川市鉱物博物館	第10回企画展「長島鉱物コレクションと蛭川の鉱物」	10月3日~2月4日
豊橋市自然史博物館	干支展「猪亥っとイノシシ」(ちょいっといのしし)	12月23日~2月18日
あいち健康の森健康科学総合センター	冬の特別展示「なりきり!忍者道場」	12月23日~3月4日
	企画展でふりかえる琵琶湖博物館の10年	12月23日~2月18日
交通科学博物館	企画展「鉄道とアート」	10月14日~1月14日
きしわだ自然資料館	波打ち際の自然史	2月1日~3月25日
兵庫県立人と自然の博物館	企画展「虫の風林火山」	10月21日~1月21日
姫路科学館	第21回未来を描く科学絵画展	1月19日~2月4日
	しぜん探偵団〜自然のハテナ?をさがせ〜	2月10日~3月4日

開催館	展 覧 会 名	開催期間
明石市立天文科学館	特別展「全国カレンダー展」	12月16日~1月28日
	特別展「太陽エネルギー展」	2月3日~3月4日
島根県立宍道湖自然館・ゴビウス	第12回特別展「ラムサール条約と世界の湿地の生きものたち」	12月16日~2月5日
<b>倉敷市立自然史博物館</b>	特別陳列「第14回しぜんしくらしき賞作品展」	12月10日~4月1日
広島市こども文化科学館	ネイチャーフォト写真展	12月15日~1月14日
	マルチメディア作品展	1月20日~2月9日
	発明クラブ作品展	2月15日~2月24日
	えんぜるふぃっしゅ作品展	2月28日~3月16日
防府市青少年科学館ソラール	企画展「藤井旭天体写真展-賢治のみた星空-	2月3日~3月11日
萩博物館	企画展示「幕末志士たちの手紙」	12月18日~4月8日
	ギャラリー展示「昆虫ワールドin萩」	12月26日~2月28日
徳島県立博物館	特別陳列「旅と祈りの道-阿波の巡礼-」	1月19日~3月18日
徳島県立あすたむらんど子ども科 学館	特別企画「エネルギーラボ」	12月14日~3月4日
愛媛県立博物館	特別展「すばらしい石鎚の自然」	2月10日~3月4日
	テーマ展「深海の不思議な生きものたち」	1月20日~3月25日
愛媛県総合科学博物館	企画展「WARNING!地球温暖化~身近な所から環境を 考えよう~」	12月2日~1月8日
	企画展「八幡浜の水産業」	1月20日~3月11日
北九州市立いのちのたび博物館	「驚異の地下帝国 始皇帝と彩色兵馬俑 司馬遷 『史記』 の 世界」	12月14日~3月31日
宮崎県総合博物館	第27回日本自然科学写真協会写真展「自然の中の不思議を 知る2006」	12月20日~1月21日
	企画展「日向国の江戸時代展~小藩分立って何?」	2月3日~3月18日
鹿児島県立博物館	テーマ展「冬の使者~かごしまの水鳥~」	12月16日~2月4日
	テーマ展「カノコユリの里『甑島の自然』」	2月24日~4月15日

# 【リニューアル】

東芝科学館では、開館45周年の11月15日を迎えるにあたり、館内のリニューアルを実施しました。 2 階には「デジタル映像コーナー」や「デジタル家電コーナー」を新設し、Cell搭載映像システムで、画面上でメイクができる「デジタルかがみ」やホームITシステム「フェミニティ」を紹介しています。

3階については、半導体の歴史をまとめて年表化し、内容を充実させました。また、照明コーナー「あかりの部屋」を新設し、360度どこにでも映像を映し出すことができる「アクティブビジョン」を設置。動物や月といった自然の映像を音や匂い・風などの効果を加え、臨場感たっぷりとデモ展示しています。(二木洋子/東芝科学館)



「あかりの部屋」



調査・企画・デザイン・設計・製作・施工・ 監理・運営およびコンサルティング・プロデュース

より良い「社会交流空間づくり」にむけて…。

# 林式会社丹青社

〒110-0005 東京都台東区上野5-2-2 TEL 03-3836-7221(代表) 札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・鳥取・福岡 URL http://www.tanseisha.co.jp

※世界の化石・ 鉱物•恐竜•化石 人類•動物骨格 標本及び模型の 輸入専門業者



# 燃 ゼネラル サイエンス コーポレーション

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-11-14 赤坂ベルゴビル802 TEL 03 (3583) 0731代表 FAX 03 (3584) 6247 高品質表現力

文化施設・商業施設・動刻・ディスプレイ・デザイン・制御演出・施工

# KOKOZ

〒205-8556 東京都羽村市神明台4丁目9番1号 TEL: 042-530-3939 FAX: 042-530-4050 http://www.kokoro-dreams.co.jp/

省スペース展示に最適な、小型ドームCG映像システム

メディアグローブは世界で初めてフルカラー 投映を可能にした小型・高精細のデジタル プラネタリウム。さらにドーム全天に高画質な CG映像を投映するマルチ投映機能を持ち、 さまざまなシーンで活躍します。



# コニカミノルタ プラネタリウム株式会社

東京事業所 〒173-0003 東京都板橋区加賀1-6-1

大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10 西本町インテス11階

東海事業所 〒442-0067 愛知県豊川市金屋西町 1-8

URL:http://pla.konicaminolta.jp

TEL (03) 5248-7051 TEL (06) 6110-0570

TEL (0533) 89-3570

TOKYO SCIENCE CO., LTD.

# ミュージアム・ショップ向/教育用地学標本



地学標本(化石:鉱物:岩石) 古生物関係模型(レプリカ)

大英博物館/恐竜復元模型

since 1974

●常設ショールーム:紀伊國屋書店·新宿本店1F TEL.03(3354)0131(代表)

## 翻東京サイエンス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イワオ・アネックスビル TEL.03(3350)6725 FAX.03(3350)6745

http://www.tokyo-science.co.jp E-mail:info@tokyo-science.co.jp

ノムラは 人が集う空 間



集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン 設計、制作施工ならびに各種施設・イベントの活性化、進営管理

BNOMURA http://www.nomurakougei.co.jp

株式会社 75 村 工 藝 社 本社:東京都港区芝浦4-6-4 電話03-3455-1171代)

## 全科協ニュース編集委員会

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 資料課長

國府田良樹

千葉県立中央博物館 教育普及課長

森田利仁

科学技術館 企画広報室次長

田代英俊

国立科学博物館 広報・サービス部 情報・サービス課長 井上透

#### 全科協事務局

国立科学博物館 広報・サービス部 情報・サービス課 守井・三浦 Tel.03-5814-9863 Fax.03-5814-9898

発行日 平成19年1月1日

発 行 全国科学博物館協議会©

■110-8718 台東区上野公園7-20 国立科学博物館内

印 刷 島崎印刷株式会社